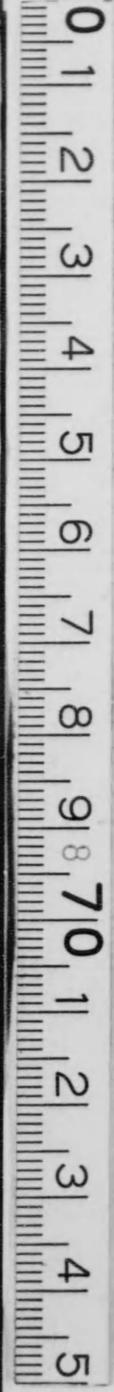


# 朝鮮案內

特276  
592

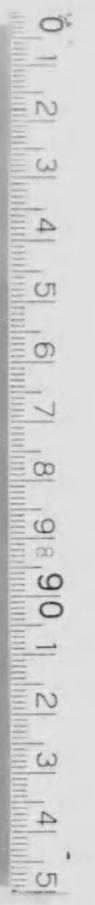


2921/



# 始



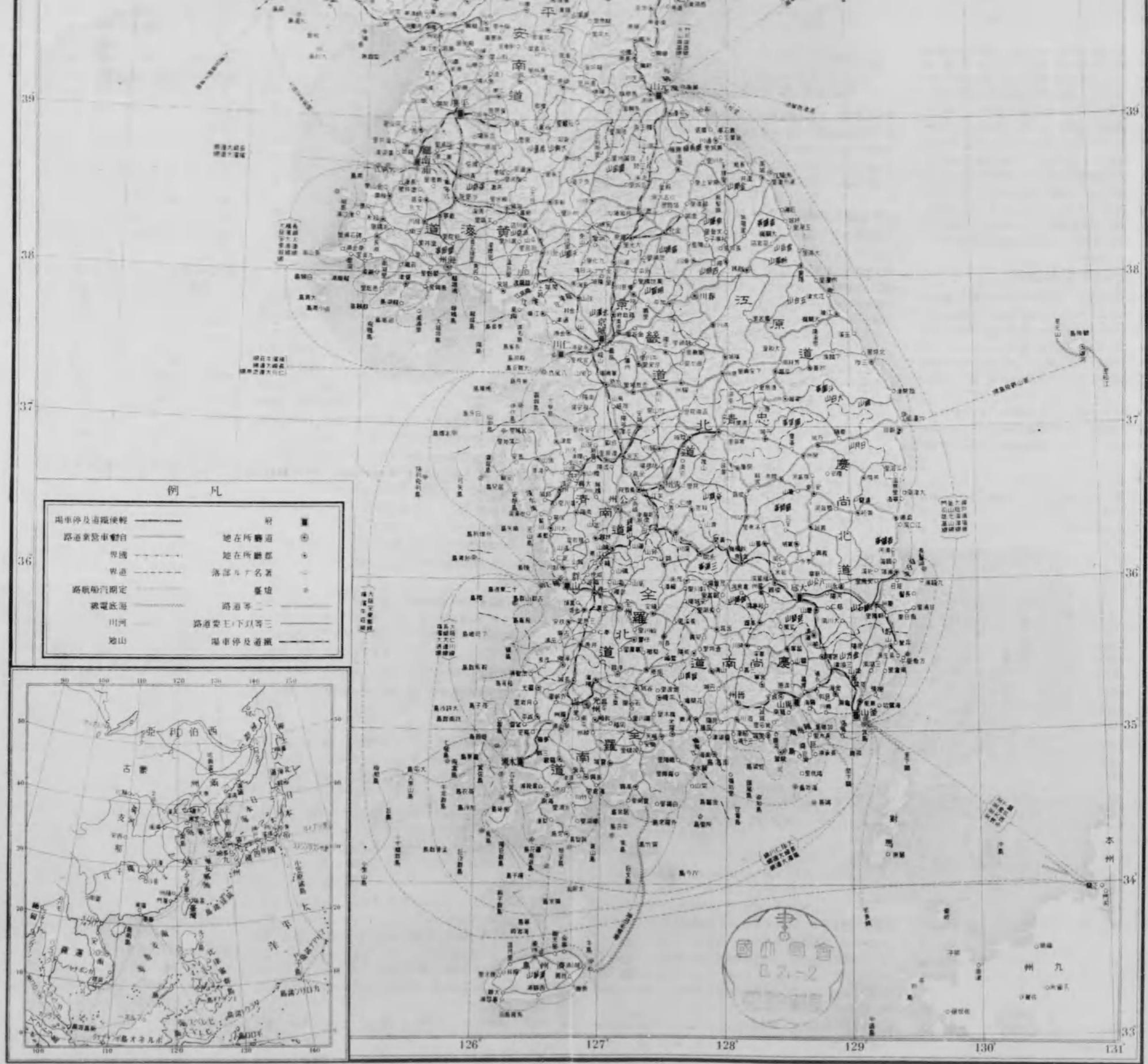


# 朝鮮地圖



大正七年 臨時土地調查局編製版 大正十三年再製版

經日本海軍  
測量部編製  
地圖之部(七)



例 凡

馬車停及道橋便輕	——	府	■
路通乘車自	——	地在所縣道	⊙
界國	——	地在所縣都	⊙
界道	——	落部凡十名著	⊙
路航船汽明定	——	縣城	⊙
鐵電底海	——	路道等二	——
川河	——	路道等主下以等三	——
地山	——	馬車停及道橋	——





# 朝鮮案内

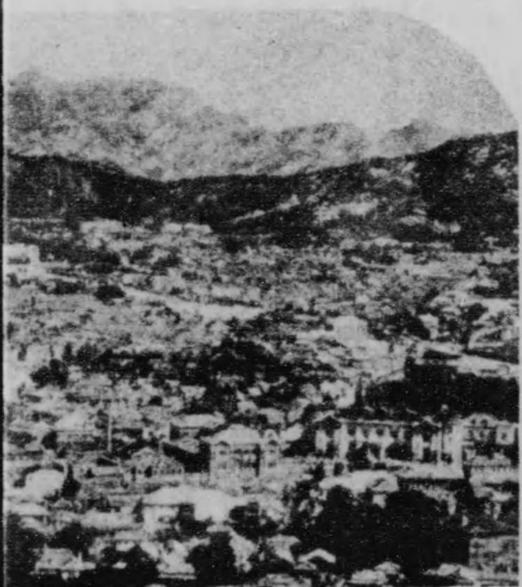
**面積地勢** 朝鮮は、亞細亞大陸の東海岸に架せられたる一大棧橋に譬ふべく、其全面積一萬四千三百二十方里、略内地の本州と異ならずして、臺灣の六倍強に相當す。千古の雪を戴ける白頭山は、巍然として北方の國境に聳え、其南に妙香山脈ありて、北より南に走り、太白山系の連峰亦蜿蜒として日本海に沿ひ、北より南に連反して、脊梁骨を成せり。

脊梁山脈の東部は、地勢急斜して平野少なく、河流の大なるものなきも、其西部には、鴨綠江・洛東江・大同江・漢江・臨津江・滄津江等の諸大河流して沃野遠く開け、産業盛んに、都邑多く、古來半島の文化は、概ね此に集中せり。

**區劃** 昔は鷄林八道と呼ばれしも、今は京畿・忠清南北・全羅南北・慶尙南北・黃海・平安南北・江原・咸鏡南北の十三道に分かれたれ、各道を通じて、十二府、二百十八郡、二島、二千五百四面を有し、道には道知事、府には府尹、郡には郡守、島には島司、面には面長を置きて、地方行政に當らしむること、なほ内地の府縣郡島町村に、知事・郡長・島司・町村長を置くが如し。地方自治制も、將來施行の階梯に在り。

**水原** 明嶺なる西湖の風景を以て著はれ、往時、成宗王の經營に成れる華寧殿・訪花隨柳亭等の名勝、今尙存す。勸業模範場・高等農林學校等ありて、朝鮮農業の模範地となれり。人口一萬餘、内地人約一千四百。

**京城** 李朝五百年の王都にして、朝鮮の首府たり。人口三十四萬餘、内地人約八萬。東に駱駝山、西北に仁王山、北に白岳山、南に南山ありて、三面を擁し、西南の一方平野開けて、漢江東より西に其間を流



京城市街

れ、地勢稍京都に似たり。併合以來市區改正家屋の改築、一年に舊時の面目を改めて大厦高樓櫺比の盛觀

# 終